

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～深井		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化しないように、空き時間を利用してチームで内容を考えている。	支援計画更新時にうかがった本人や保護者さんのニーズをていねいに確認しながら、個別のプログラムも集団のプログラムも考えている。	・事業所内での支援会議やプログラムの立案・検討の時間を十分に確保していく。 ・同じ事業所の他店舗と引き続きプログラムの共有をし、物品の貸し借りもしていく。
2	終礼でその日の支援についてていねいに振り返りを行い、共有している。	利用児の活動の様子や気持ちにスポットをあてて共有を行なっている。すべての職員が発言しやすい雰囲気を作っている。	・指導員の支援についてもみんなで話し合い、支援力を向上させていく。
3	在籍する専門職（PT、心理師）や顧問のSTと連携し、本人や保護者様のニーズに寄り添った支援を提供している。	専門職会議を定期的開催し、どのように支援していくか話し合う機会を設けている。	・専門職会議の内容を共有し、日々の支援が充実させていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修に参加する機会がなかなかとれない。	事業所全体で研修の機会を作っているが、外部の研修へは療育時間の関係で一部の職員しか参加できていない。	・外部の研修に職員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
2	お子様の安全確保に対して、保護者様への周知が十分でない。	利用児さんに対して避難訓練を実施し経路の確認も行なっているが、実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を保護者様に周知できていない。	・お手紙を準備し配布する。
3	地域の中で他の子ども達と活動する機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっておりにくく難しい。	・祝日イベントで事業所外へ出かける機会を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい～深井

公表日 令和7年10月30日

利用児童数 45人

回収数 30人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87%	10%		3%		規定の利用定員ですが、曜日によって学年(体格)の偏りがあります。利用児の年齢も考慮してクラス編成を考えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93%	3%		3%		視覚支援を活用したり、全体に説明する際は注目をうながしてから説明するなど工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	97%	3%				
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	3%				療育の専門性を高めるために定期的に研修などを行ない、安定した支援ができるように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	100%					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97%			3%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	97%			3%	座学が色々あり魅力的です。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	27%	17%	13%	43%	特に望んでもいない。	プログラムの時間が決まっておりなかなか難しい状況ではありますが、そのような機会が設けられるように検討していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	73%	7%	3%	17%		事業所としてペアレントトレーニングは現在行っておりませんが、保護者会に講師をお招きし情報提供の場を設けたりしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	97%	3%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93%			7%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	57%	10%	10%	23%		保護者会を開催しております。また笑みりい～5事業所の合同イベントを企画し、兄弟児さんも一緒に参加していただいています。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	97%			3%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93%			7%	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93%	3%		3%	今後も活動の様子がわかるように随時更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%	3%		3%	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	93%	3%		3%	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93%			7%	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	93%	3%		3%	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				すっごく楽しみにして、楽しんでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%			めちゃくちゃ楽しみにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				大満足

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動発達支援スタジオ笑みりい～深井				公表日	令和7年10月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%		小学生クラスではスペースがせまく感じられる。利用児の年齢（体格）や人数を考慮してクラス編成し、活動量を確保していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			規定の人員配置を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		色テープで活動の場所がわかるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%		防災マットにテープ跡があつたり切ったり、気になるところがある。マットがボコボコしている部分があつたが張り直しをしてみました。今後、検討していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	相談室を何も無い状態にして使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%		全ての職員がPDCAサイクルを意識した業務を行なえるように、話し合う時間をもう少し作っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者様からの要望等があった時は、その都度職員で共有し話し合いをしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		終礼や支援会議など職員で話をする機会を多く取るようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%		第三者による外部評価は行なっていません。今後実施できるよう検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部の研修や社内研修を行なっています。PTによる専門的な知識の研修も行なっています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムを作成してホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		作成時に保護者様と面談を行ない、ニーズや課題が反映されるように努めています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		日々の活動の中でどんな支援が必要か、課題は何かを共有し確認しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		作成された支援計画を事務所に掲示し、職員全員が確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			保護者様から発達検査の結果を共有していただき、支援計画に反映するようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		発達年齢や今後の成長について保護者様と話し合い、必要な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		空き時間を利用して、チームで考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		類似した活動が続かないようにしたり、子ども達の状況に合わせて変更したりしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		職員間で利用児の状況を共有し、個別的な活動にも力を入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝礼後にその日の支援内容や役割分担を確認しています。	もう少し時間をかけたい。 時間があれば行なっている。 業務改善をすることでその時間をもう少し確保していきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		毎日終礼時に、支援の振り返りを行ない共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援計画に沿った内容やその都度の利用児の様子を必ず記録しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			半年ごとにモニタリングを行ない、支援計画の見直しを行なっています。6か月未満でも必要に応じて計画の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			祝日イベントの内容をより充実させて支援の幅が広がるようにしていきます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		自由時間に何を遊ばせようかと子どもが自由に決められるようにしています。	活動の主な内容は職員が決められていますが、子ども達にも決めてもらえる機会を作りたいと思います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			管理者が基本的に参加していますが、他の職員も一緒に参加できるように努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			必要に応じて、電話や送迎時に情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%			担当者会議に限らず、もう少し情報共有できるように努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%			小学6年生までの利用になっており、該当する利用児がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%		今年度も堺市障害児通所支援事業者育成事業で、事業所に来ていただいてスーパーバイズを受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%			あまりなく、やってみたい。 そのような機会が設けられるよう検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%			可能な限り参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			送迎時にお子様の様子をお伝えし、情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%			事業所内でのペアレントトレーニングや研修等は行なえていないので、保護者様に向けた研修等も取り入れていきたいと考えています。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			見学や体験時、契約の際に書面を用いて説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			支援計画更新時には面談を行ない、お子様や保護者様の意向を聞かせていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			支援計画の内容を説明し、同意を得たうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			定期的な面談に加え、相談ごとがある時は随時相談や助言を行なっています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会を開催しています。祝日イベントで年1回兄弟児さんにも参加の声をかせていただいています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		ホームページでのブログ、Instagram等で活動の様子をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		厳重に管理させていただいております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		わかりやすい言葉や絵カード・写真などの視覚支援を活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		今後地域交流が持てるようなイベントの開催を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			保護者様にもマニュアルを周知できるように体験時や契約時に伝えていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		BCPを策定し、年に2回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		体験時や契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	基本的に食べ物を提供していません。イベント等でおやつを提供する際は保護者さんに確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成して、月に1回安全点検を行なっています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			災害時の緊急連絡先の確認や利用時に災害が発生した場合の避難場所などを保護者様に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		事例が発生した場合は、必ず作成し職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を行ない、職員の意識を高めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	67%	33%		身体拘束のマニュアルをもとに、必要に応じて保護者様に相談後個別支援計画書に記載します。現時点で必要とする児童はいません。	